

ハイチでの緊急支援に向かうアムダの菅波代表（左）と岡山大病院の朴医師（JR岡山駅で）



AMDA

菅波代表らハイチへ出発

大地震被災地で巡回診療

国際医療NGO「AMD
A（アムダ）」（本部・岡
山市北区）の代表・菅波茂

に、大地震で被災したハイチに向けてJR岡山駅から出発した。

医師（63）が20日、岡山大病院の朴範子医師（38）とともに

菅波代表によると、現地時間の21日早朝に、隣

国ドミニカンの首都・サン
トドミンゴに到着、ハイチとの国境付近やハイチ国内で5日間、滞在する予定。ハイチの首都・ポルトープランス北約60キロのサンマルクにある病院での治療や、国境付近で巡回診療を行う。

菅波代表はJR岡山駅で取材に応じ「統治機構が崩壊した初めての災害だろう。（AMDAの支援活動は）1、2か月の長期に及ぶと思う」と話した。

15日に第1次医療チームとして、日本を出発した医師ら4人は、サンマ

ルクなどでカナダの民間団体や現地のNGOと救援活動を続けている。